

# 1 地域包括支援センター機能の強化

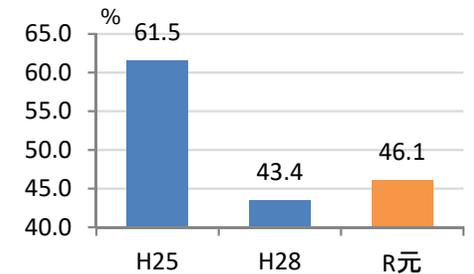
## 【目指す姿】

地域包括支援センターが、高齢者やその家族にとって、より身近で安心して相談ができる専門機関として、住民に認識されています。

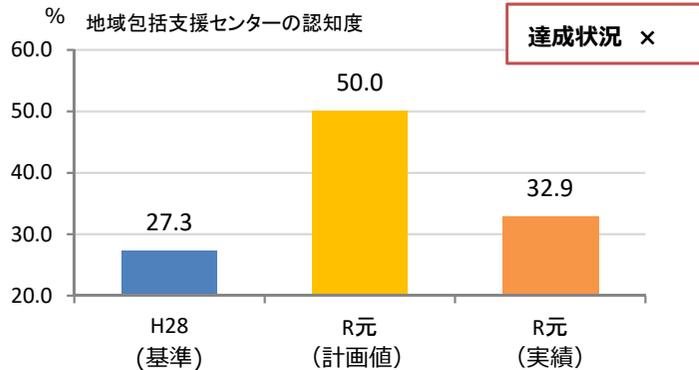
## 【目標値】

介護について、悩みを気軽に相談できる人や場所がある方の割合

※ 3年に1度の調査項目



## 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



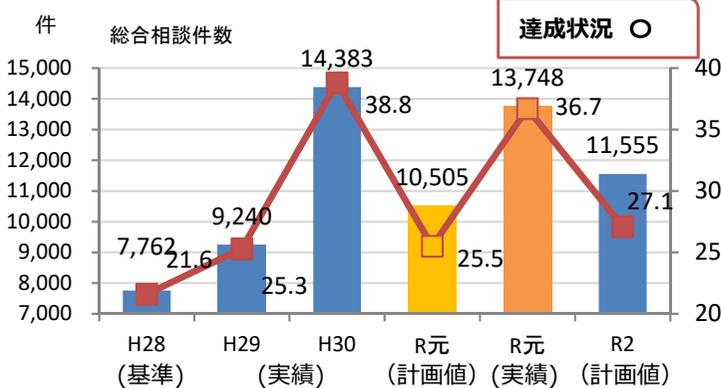
※ 3年に1度の調査項目

## 【取組み状況】

- ・介護展等の催し物で地域包括支援センターのPR、市広報の隔月15日号において、地域包括支援センターPRコーナーの記事を掲載し地域包括支援センター業務の周知を行った。
- ・地域包括支援センターを「知っている」32.9%、「言葉は聞いたことがある」34%、「まったく知らない」28.7%であり、前回調査と比べると「知っている」は増えているが、「まったく知らない」は同程度であった。

## 【今後の取組み方針等】

- ・新型コロナウイルスの関係により介護展は中止となったが、市広報にて地域包括支援センター業務の啓発記事を掲載する。



高齢者人口に対する割合

## 【取組み状況】

- ・相談件数については、着実に伸びてきており、内容も多様化してきている。他機関等との連携が必要である。
- ・昨年度から相談件数が減った理由として、集計の仕方を見直したことにより、重複して集計していた部分が正され、件数が減少したことがあげられる。

## 【今後の取組み方針等】

- ・高齢者の総合相談窓口としてアウトリーチ型の相談体制の充実化を図る。
- ・働く家族が相談しやすいよう休日や夜間等における相談窓口を拡充する。

# 1 地域包括支援センター機能の強化

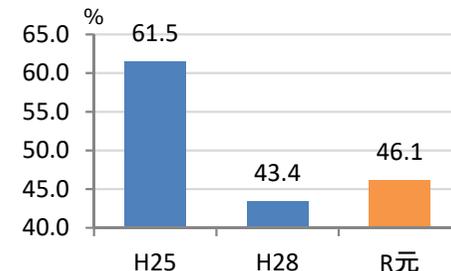
## 【目指す姿】

地域包括支援センターが、高齢者やその家族にとって、より身近で安心して相談ができる専門機関として、住民に認識されています。

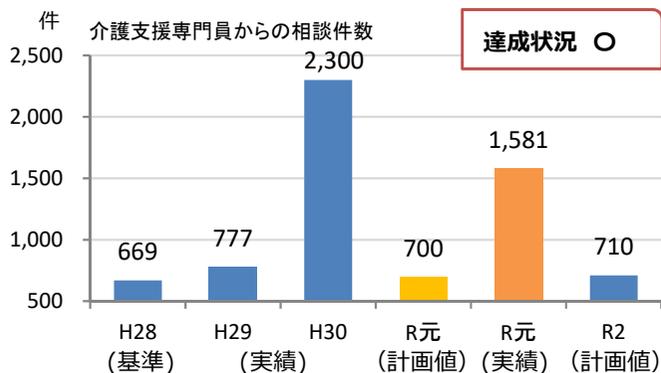
## 【目標値】

介護について、悩みを気軽に相談できる人や場所がある方の割合

※ 3年に1度の調査項目



## 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

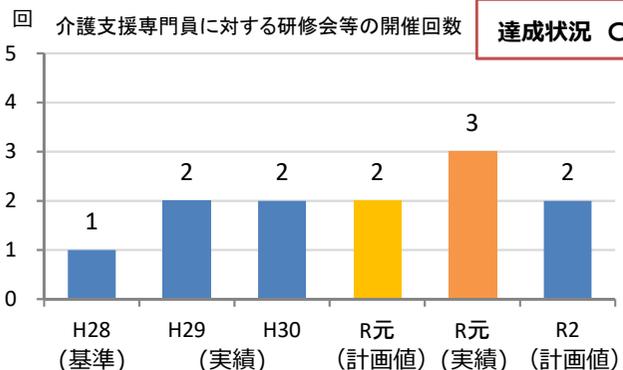


## 【取組み状況】

- ・地域包括支援センターの認知度を高めるため、さまざまな機関や機会を活用した相談体制の充実を図っていく必要がある。
- ・事業所交流会を2回開催し、介護支援専門員等との交流を図った。グループとなって交流会を行った折に地域のケアマネジャーの考えていることや困っていることなど様々な意見を聴取するとともに、関係性を構築した。
- ・令和元年度は、ほとんどの包括で介護予防プラン作成の委託率が減っており、相対して、ケアマネジャーからの相談件数も減ったものと考えられる。

## 【今後の取組み方針等】

- ・高齢者数の増加に伴う相談件数の増加と内容の多様化など地域包括支援センターの業務量の増加が見込まれる。そのため、業務量等に応じて、人材が十分配置できるような環境整備に努める。
- ・事業所交流会で得たケアマネジャーからの意見等を精査し、地域との協力が必要なもの、薬剤師などの専門職との協力が必要なものなどに分類し、ケアマネジャーの支援の活動に繋げていくよう検討していく。



## 【取組み状況】

- ・介護支援専門員に対する研修として、3回開催した。研修のテーマ
- ①「移送サービスを知ろう！！」～みんなを繋ぐ役割～
- ②自立支援に資する介護予防ケアマネジメント研修会
- ③セルフ・ネグレクト研修会

## 【今後の取組み方針等】

- ・市内で実施される研修が過多となってきており、ケアマネジャーへの負担が多くなってきている。
- ・それぞれ研修会を行っている、介護支援専門員連絡協議会及び地域包括支援センターやサービス事業者連絡会(居宅部会)で合同の研修企画を行い、研修内容の重複や開催時期の調整等を円滑にする。

# 1 地域包括支援センター機能の強化

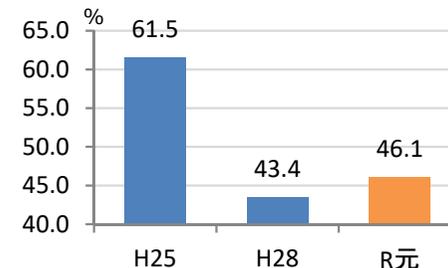
## 【目指す姿】

地域包括支援センターが、高齢者やその家族にとって、より身近で安心して相談ができる専門機関として、住民に認識されています。

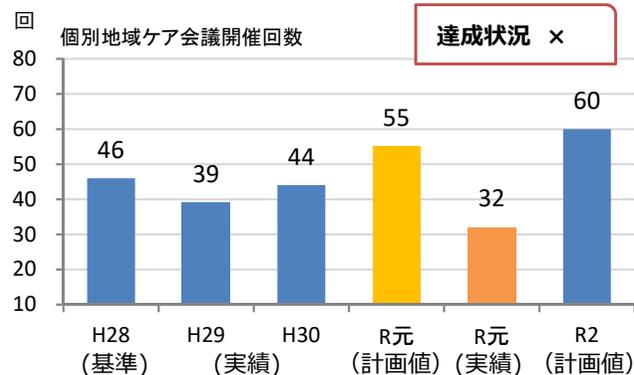
## 【目標値】

介護について、悩みを気軽に相談できる人や場所がある方の割合

※ 3年に1度の調査項目



## 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



## 【取組み状況】

- ・個別地域ケア会議の開催については、前年度より実施回数が減少した。新型コロナウイルスの関係により、自粛した影響も多少あると思われる。
- ・圏域ごとに開催状況を見ると偏りも生じており、ケース対象者及び関係者にとって有意義な会となるよう関係者間で開催趣旨、目的などをはじめ認識を共有する必要がある。
- ・自立支援型の多職種カンファレンスを3回開催した。参加者は、延べ120名。個別ケア会議同様、多職種カンファレンスの趣旨をケアマネジャーに理解してもらう必要がある。

## 【今後の取組み方針等】

- ・個別地域ケア会議で得られた課題を多職種で協議し、必要に応じて施策を検討する場の構築を進める。
- ・新型コロナウイルスの関係により、開催を延期している状態であるが、多職種カンファレンスの目的が、参加者に十分浸透していないこともあり、目的意義の共有化と新型コロナウイルスに対応した開催方法について検討していく。

## 2 支え合う地域づくり

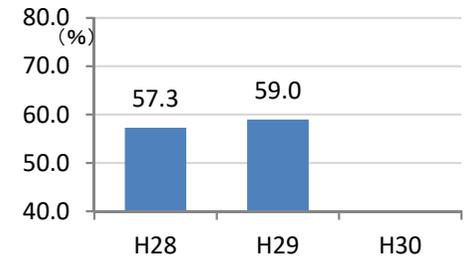
### 【目指す姿】

「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「自分事」として主体的に取り組むよう地域住民一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域づくりが推進されています。

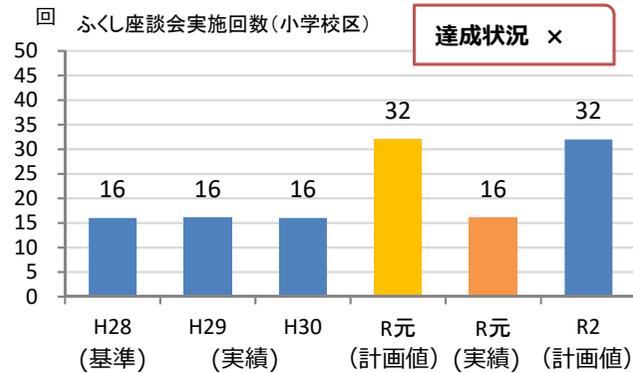
### 【目標値】

地域で支え合い安心して暮らしている市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

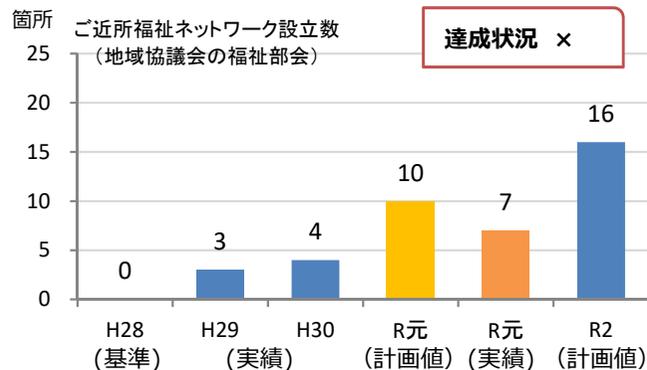


### 【取組み状況】

・要支援者台帳の活用と見守り活動の強化のため、安心カプセルの普及啓発をテーマにし、分類分け・安心カプセル作成などの体験を実施した。

### 【今後の取組み方針等】

・新型コロナウイルスの関係から、今年度もふくし座談会の実施回数は伸び悩むと思われるが、可能な限り要支援者台帳を活用した取組み、安心カプセルの普及啓発や、地区住民への説明など、地域の活動に結び付けるよう実施する。



### 【取組み状況】

・おたすけ隊について  
味岡 月平均2～3件  
篠岡 月平均2件  
その他、小牧原、大城でおたすけ隊設立へ向けて検討中。  
・さわやかウォーキングを2回開催、83名参加(篠岡)。  
・陶地域協議会に出向き、篠岡地区サロンの紹介やこまき身体操レクチャーを実施。  
・桃ヶ丘では、6サロンの代表者による情報交換会を実施し、工夫した内容や困りごとの共有ができた。また、4サロンをまとめたポスターを作成した。

### 【今後の取組み方針等】

・小学校区単位のネットワークづくりから、「ご近所福祉ネットワーク」へと展開するため、福祉部会の設立や各小学校区からの相談に対するアドバイスなど地域活動の充実を図る。

## 2 支え合う地域づくり

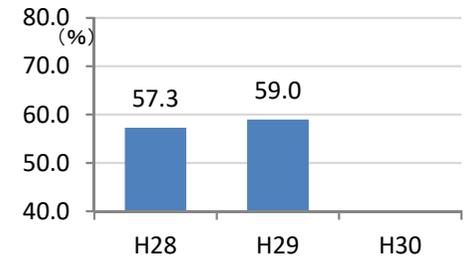
### 【目指す姿】

「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「自分事」として主体的に取り組むよう地域住民一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域づくりが推進されています。

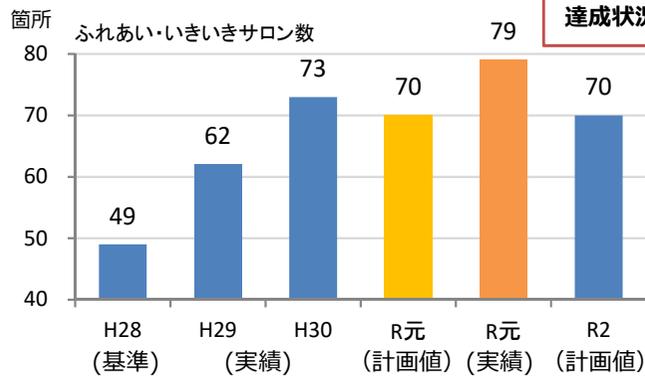
### 【目標値】

地域で支え合い安心して暮らしている市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

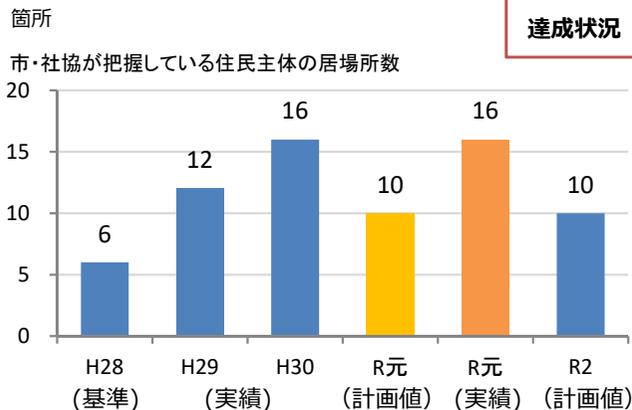


### 【取組み状況】

・新たに6箇所が新規立ち上げとなった。サロン参加者やボランティアと顔の見える関係づくりを目的として地域包括支援センターと協力し、サロン巡回を実施した。  
(巡回数260回、相談件数140件)

### 【今後の取組み方針等】

・サロンの数が増えるほど、サロン運営を継続していくための担い手や運営に関する相談事などの支援が必要になると思われる。今年度は、保健センターより、栄養面について普及啓発を実施したいとの要望があったため、巡回事業と合わせて協力体制を作る。



### 【取組み状況】

・居場所ボランティア養成講座「シニアライフ講座」を開催し、62人の参加があった。高齢者になってからも社会に貢献ができ、地域で支え合いの活動に取り組めるように、地域活動を実践しているボランティアからお話ししてもらい、活動に取り組むきっかけとなるよう活動事例を紹介しながら実施した。

### 【今後の取組み方針等】

・計画値は達成したものの、地域での支え合い活動に関心を持ち、取り組んでもらえるよう、引き続き講座や勉強会を開催していく。

## 2 支え合う地域づくり

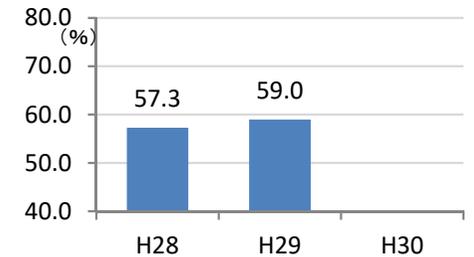
### 【目指す姿】

「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「自分事」として主体的に取り組むよう地域住民一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域づくりが推進されています。

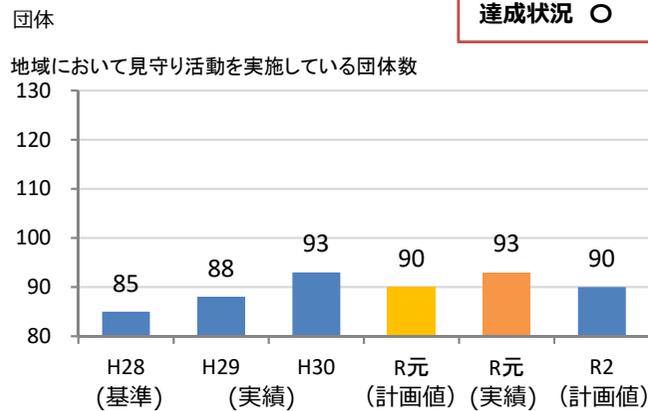
### 【目標値】

地域で支え合い安心して暮らしている市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

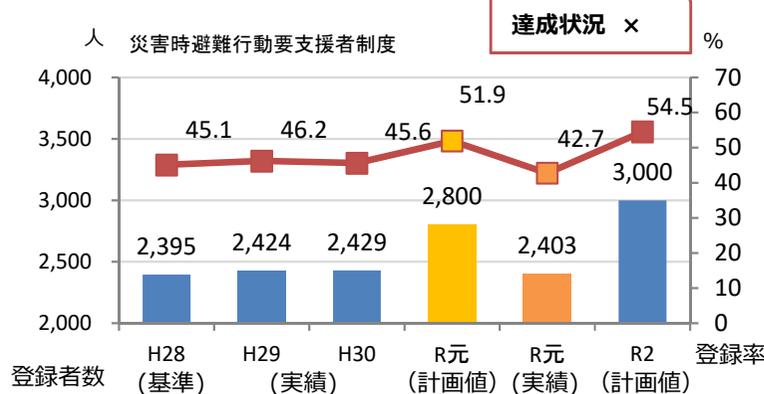


### 【取組み状況】

- ・令和元年度に介護保険の事業者連絡会の折に説明を行ったり、外出支援サービス契約更新時に周知文書を配布するなど周知を図り、見守りに協力していただける事業者の増加を目指した。
- ・令和元年度に締結したセブンイレブンの地方創生に係る包括連携協力に関する協定の中で、見守り活動への協力も依頼した。

### 【今後の取組み方針等】

- ・引き続き、見守りに協力していただける事業者を増やすために周知を図る。



### 【取組み状況】

- ・介護保険サービス事業者連絡会、自主防災会総会、区や地域協議会の会合に出向き、制度の周知を行った。
- ・広報こまき10月15日号に制度についてのページを掲載し、周知を行った。
- ・民生委員・児童委員の会合にて制度の周知を行い、登録支援を依頼した。

### 【今後の取組み方針等】

- ・制度開始から5年が経過したことから、改めて未登録者に一斉に意向調査を実施し、登録者の増加を目指すとともに、登録しない理由について分析を行う。
- ・既登録者にもアンケートを送付し、必要な支援の分析を行うことを予定している。
- ・引き続き民生委員・児童委員や区、地域協議会の会合に出向き、制度説明を行う。

## 2 支え合う地域づくり

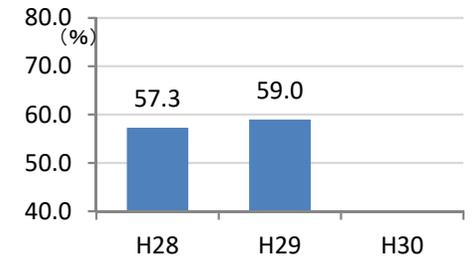
### 【目指す姿】

「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「自分事」として主体的に取り組むよう地域住民一人ひとりが役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域づくりが推進されています。

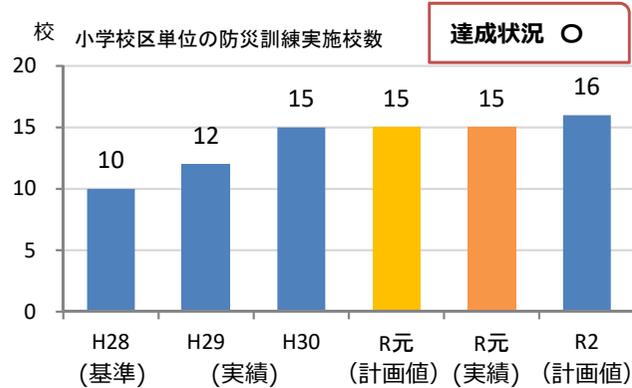
### 【目標値】

地域で支え合い安心して暮らしている市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

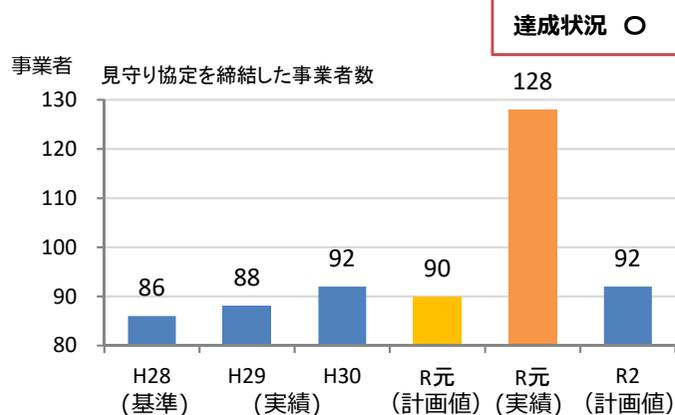


### 【取組み状況】

・小学校区の防災訓練に合わせて、避難行動要支援者台帳について地区住民を対象に説明したり、声かけ・安否確認訓練を実施するとともに、安心カプセルの配布を実施した。

### 【今後の取組み方針等】

・引き続き防災訓練実施に取り組むとともに、声かけ・安否確認訓練を実施していく。



### 【取組み状況】

・令和元年度に介護保険の事業者連絡会の折に説明を行ったり、外出支援サービス契約更新時に周知文書を配布するなど周知を図り、見守りに協力していただける事業者の増加を目指した。

・令和元年度に締結したセブンイレブンの地方創生に係る包括連携協力に関する協定の中で、見守り活動への協力も依頼した。

### 【今後の取組み方針等】

・引き続き、見守りに協力していただける事業者を増やすために周知を図る。

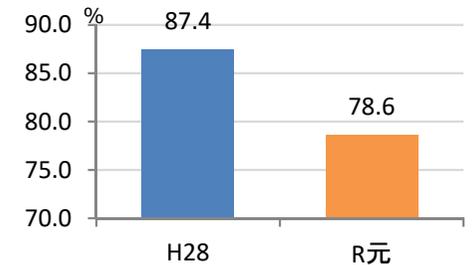
### 3 認知症施策の充実

**【目指す姿】**

本人または、その家族が認知症を患っても、地域住民の理解のもと、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

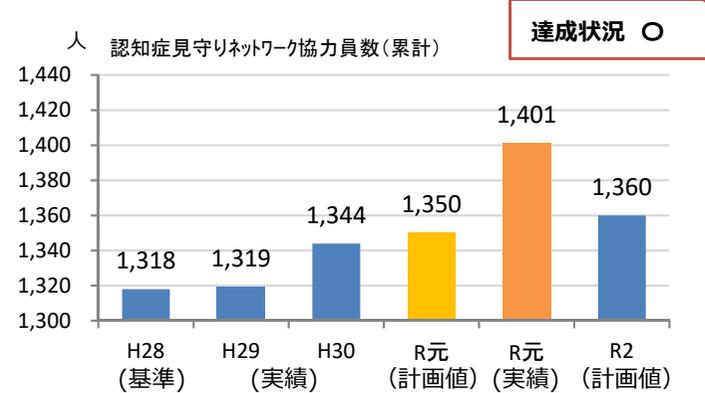
**【目標値】**

認知症に気づいたときに、家族・親戚・知人以外で相談する先がある方の割合



※ 3年に1度の調査項目

**【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】**

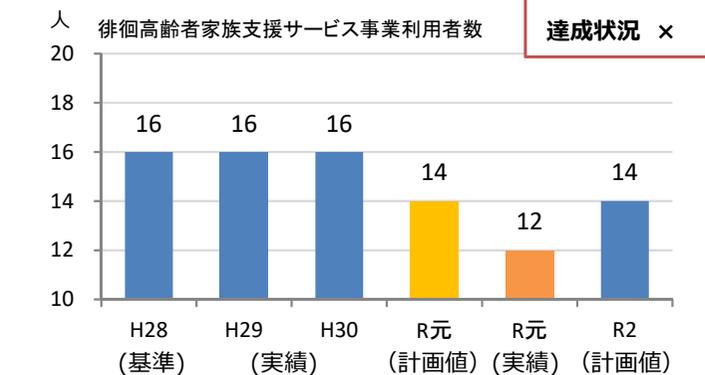


**【取組み状況】**

- ・市民まつり、寿学園・老人クラブ連合会総会の折に、ネットワーク会員（メール会員）の増加に向けて登録方法を記載したチラシを配布し、周知を図った。
- ・令和元年度末現在、メール会員980名、FAX会員421名の会員があり、会員数は増加傾向である。
- ・警察署及び近隣市からの依頼の受け、メール及びFAXにて認知症により所在不明となった高齢者の情報をネットワーク会員に発信し、発見につなげた。

**【今後の取組み方針等】**

- ・今後も、イベント等でネットワーク会員の登録方法の周知を図る。



**【取組み状況】**

- ・認知症の方を介護する家族の支援対策事業であるGPS端末の貸与について、従来は特定の機器の貸出しであったが、令和元年度より、利用者に合った機器を利用者が選定できるようにするため、補助金制度として、利便性を高めた。（従来の機器の利用者については、令和元年度は12名に貸与した。）

**【今後の取組み方針等】**

- ・GPS端末について、令和元年度より補助金体制としたため、新制度について広報等にて周知に努める。

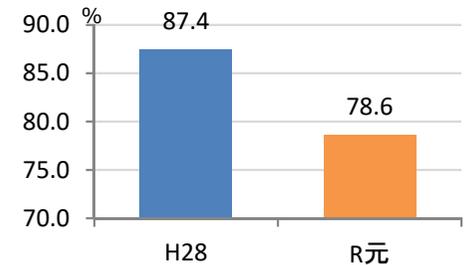
### 3 認知症施策の充実

**【目指す姿】**

本人または、その家族が認知症を患っても、地域住民の理解のもと、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

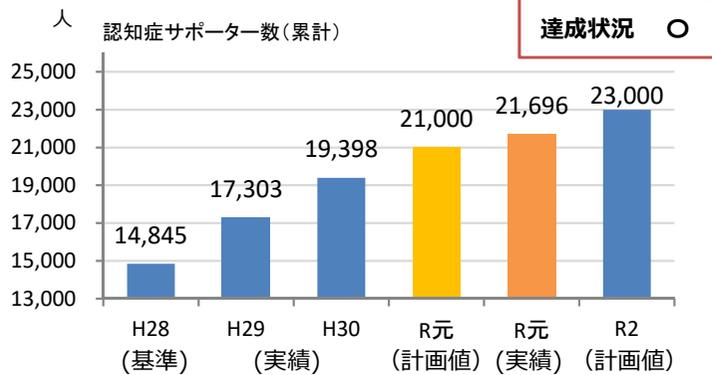
**【目標値】**

認知症に気づいたときに、家族・親戚・知人以外で相談する先がある方の割合



※ 3年に1度の調査項目

**【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】**

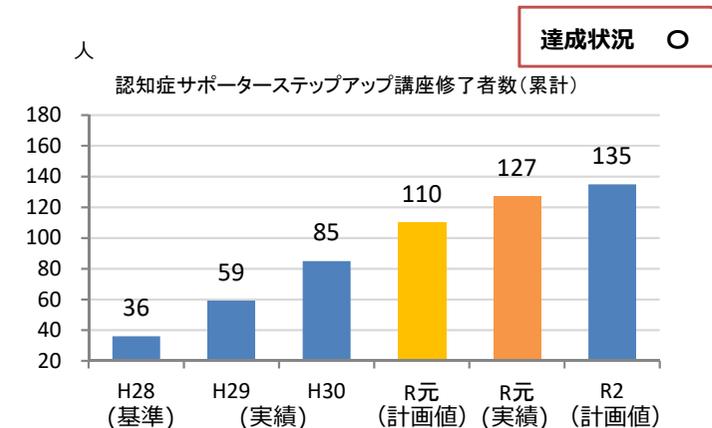


**【取組み状況】**

・認知症サポーター養成講座は、地区の集まりや企業、小中学校の生徒などを対象に56回(2,298名)の講座を開催した。

**【今後の取組み方針等】**

・認知症サポーターを幅広い世代に広げるため、認知症サポーター養成講座を引き続き開催できるよう、市民だけでなく、企業や教育の場においても講座の開催をすすめる。



**【取組み状況】**

・認知症に関する知識をさらに深めるため、認知症を患った当事者の生の声を聞く機会を設けるとともに、認知症カフェや家族介護者交流会等の認知症に関連した地域福祉活動を実践している方々の話を聞く機会を設けるため、認知症ステップアップ講座(「まなびあい講座」)を開催した。(42名参加)

**【今後の取組み方針等】**

・認知症ステップアップ講座の目的として、近年では、地域活動(主に認知症カフェ)の担い手養成の要素が強く、受講生の意識も偏りがあることから、ステップアップ講座のあり方を見直し、令和元年実施したところである。  
・当事者の声を聞く機会は、非常に有益なものであり、次年度以降もこのような機会を継続していく。

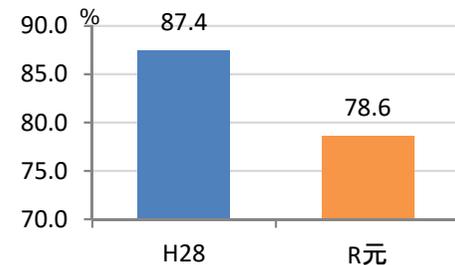
### 3 認知症施策の充実

**【目指す姿】**

本人または、その家族が認知症を患っても、地域住民の理解のもと、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

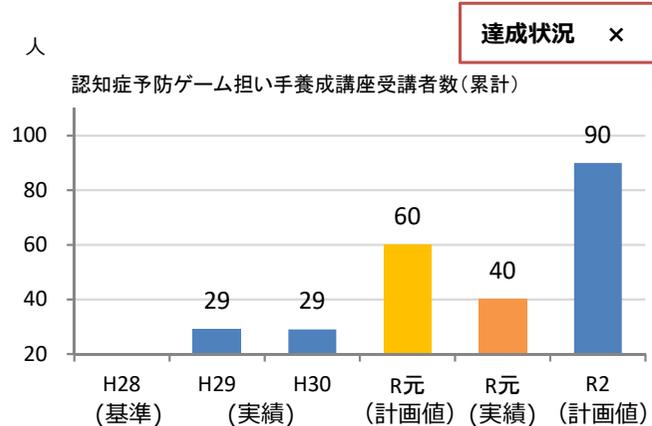
**【目標値】**

認知症に気づいたときに、家族・親戚・知人以外で相談する先がある方の割合



※ 3年に1度の調査項目

**【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】**

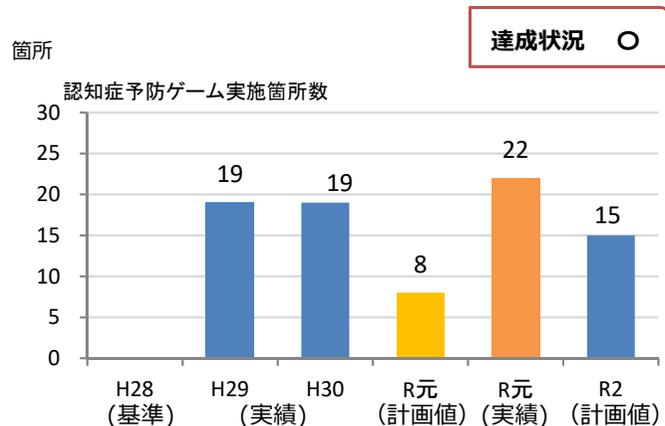


**【取組み状況】**

- 新規受講希望者および平成29年度受講者で振り返りを希望する方を対象に、認知症予防ゲームリーダー養成講座を2日間開催した。(新規一般受講者11名+専門職7名)
- 身近な認知症予防の推進に向けた取り組みとして、養成講座修了者を対象に意見交換会を開催し、そこで、「認知症予防ゲーム」を定期的に開催する場の構築に向けて検討を行った。

**【今後の取組み方針等】**

- 認知症予防ゲームリーダー養成講座を開催し、新規の担い手を養成するだけでなく、修了生に対する振り返りやスキルアップの機会として、ステップアップ講座を開催する。
- 「認知症予防ゲーム」を中心とした居場所づくりのため、定期的な実施の場を設ける。



**【取組み状況】**

- 認知症予防ゲームリーダー養成講座の受講生を中心に、地域のサロンや認知症カフェで認知症予防ゲームが実践されている。(令和元年度新規把握：寺浦サロン、入鹿サロン、結(もやい)カフェの計3か所)
- 養成講座修了生からは、「自信がない」「一人ではできない」「一度講座を受けただけでは習得が難しい」との意見が寄せられており、定期的な認知症予防ゲームの実施の場の展開に向けて検討を行った。

**【今後の取組み方針等】**

- 「認知症予防ゲーム」を中心とした居場所づくりやリーダーの認知症予防ゲーム習得のため、まずは広域的に1ヶ所、定期的なゲーム実践の場を設ける。

### 3 認知症施策の充実

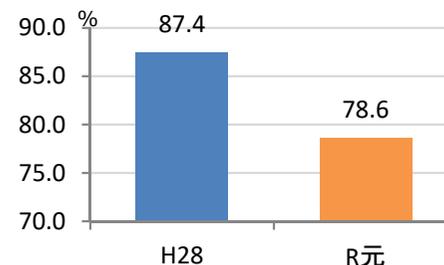
**【目指す姿】**

本人または、その家族が認知症を患っても、地域住民の理解のもと、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

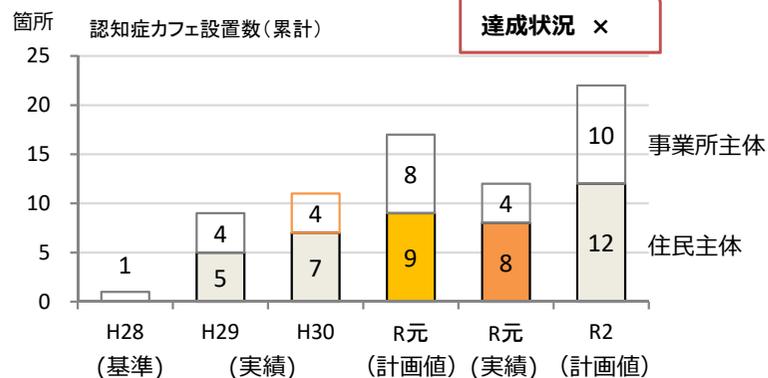
**【目標値】**

認知症に気づいたときに、家族・親戚・知人以外で相談する先がある方の割合

※ 3年に1度の調査項目



**【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】**



**【取組み状況】**

- ・住民主体のカフェが市内8箇所開設。(R元年度新規開設：2箇所、R元年度閉店：1箇所)
- ・事業所主体のカフェについては、H29年度から同数であり、改めて普及啓発が必要である。

**【今後の取組み方針等】**

- ・事業所主体のカフェが増えていないため、事業所に対して働きかけを行い、新規開設を目指す。
- ・また、住民主体のカフェについては、認知症地域支援推進員が中心となり、継続的に開催できるよう支援する。

**【その他取組み状況】**

- ・認知症見守りステッカー事業の普及啓発のため、市民レポーターによる取材を受け、広報「こまき」にステッカー事業に関する記事を掲載した。
- ・認知症等により行方不明になり、その先で事故が発生した場合の補償等について保険会社と打合せを行うなど調整を行った。
- ・認知症初期集中支援チームについては、新たに13件のケースの対応を行った。(相談のみ4件)今後も、地域包括支援センターやかかりつけ医を含めた医療機関との連携を強化し、対応していく必要がある。

**【今後の取組み方針等】**

- ・認知症高齢者等あんしん補償事業について検討し、令和2年6月より事業化。
- ・引き続き、ケースの支援にあたる中で、地域包括支援センター(特に認知症地域支援推進員)との連携を意識し、集中的に支援を行う。また、前年度からの課題として、かかりつけ医がいる場合は、チーム員としての介入をお知らせし、医師と情報共有をしながら支援にあたる。

### 3 認知症施策の充実

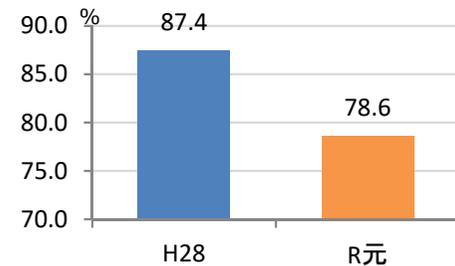
**【目指す姿】**

本人または、その家族が認知症を患っても、地域住民の理解のもと、  
住み慣れた地域で安心して暮らしています。

**【目標値】**

認知症に気づいたときに、家族・  
親戚・知人以外で相談する先があ  
る方の割合

※ 3年に1度の調査項目



**【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】**

	H28	H29	H30	R元
かかりつけ医認知症対応力向上研修受講者数	27人	26人	27人	27人
認知症サポート医研修受講者数	7人	8人	8人	7人
歯科医師認知症対応力向上研修受講者数	1人	1人	1人	3人
薬剤師認知症対応力向上研修受講者数	2人	7人	11人	2人

## 4 生活支援や安心できる高齢者向け住まいの充実

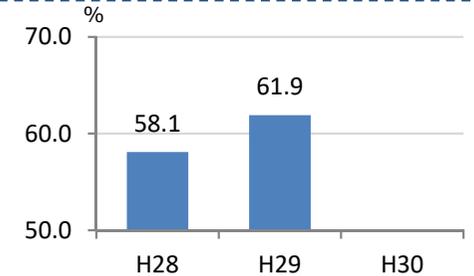
### 【目指す姿】

年齢を重ねても、住み慣れた小牧市において、安心して生活していきます。

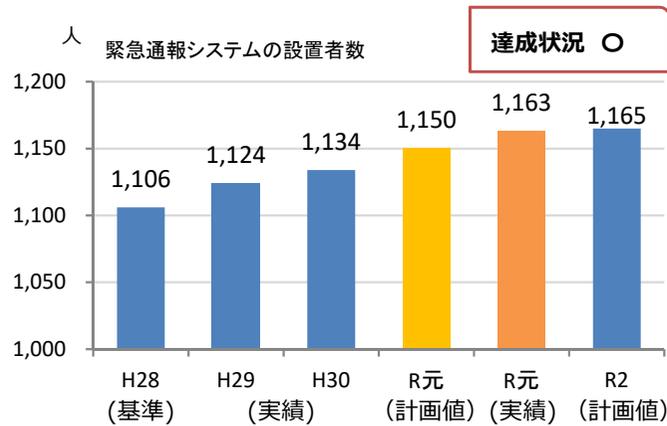
### 【目標値】

現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

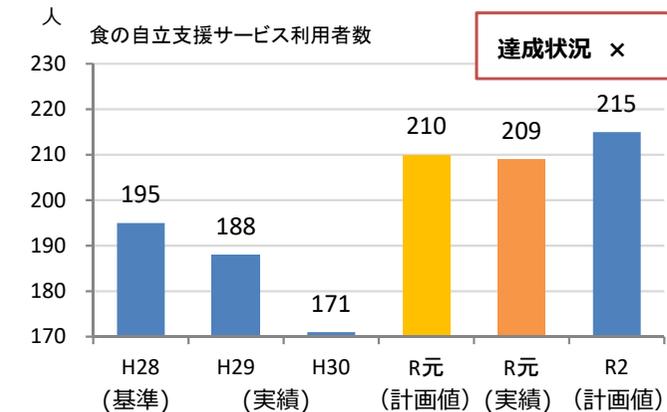


### 【取組み状況】

- ・ひとり暮らし高齢者等の急病等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう、緊急通報体制を整備し、緊急時には協力員への連絡や救急車、警備員等の出動につなげた。
- ・令和元年度より、従来の対象であるひとり暮らし高齢者世帯に加え、重度障がい者等との多人数世帯も対象として拡大した。

### 【今後の取組み方針等】

- ・何らかの支援を必要としているひとり暮らし高齢者等について、民生委員や地域包括支援センター等と連携して、適切なサービス利用につなぐことができるような体制を維持し、サービスの周知を図る。
- ・緊急通報の利用に必要なNTT電話回線について、生活保護受給者等の所得税非課税世帯に対して貸与している市回線数を、従来は25回線だったものを令和2年度より50回線に倍増し、必要な方への支援を進める。



### 【取組み状況】

- ・高齢者に栄養バランスのとれた昼食を提供するとともに、配達業者による継続的な安否確認を行った。

### 【今後の取組み方針等】

- ・何らかの支援を必要としているひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯について、民生委員や地域包括支援センター等と連携して、適切なサービス利用につなぐことができるような体制を維持し、サービスの周知を図る。

## 4 生活支援や安心できる高齢者向け住まいの充実

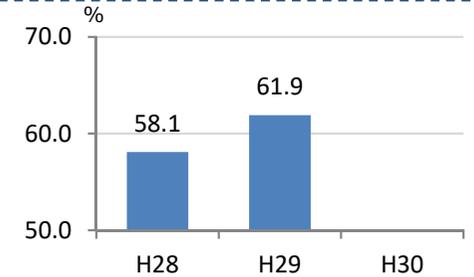
### 【目指す姿】

年齢を重ねても、住み慣れた小牧市において、安心して生活しています。

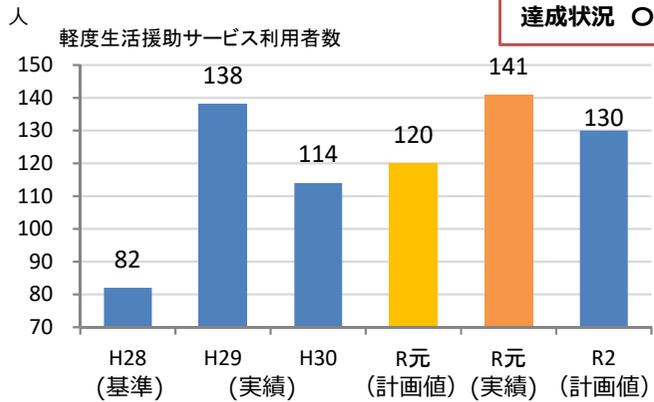
### 【目標値】

現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

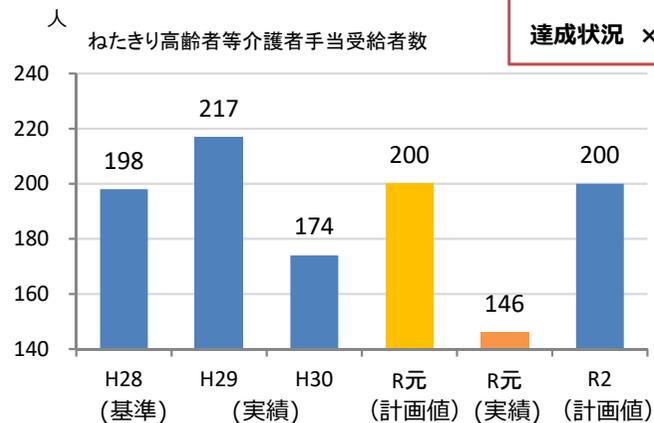


### 【取組み状況】

・庭の手入れや家屋の清掃など、軽易な日常生活上の支援を行う軽度生活援助サービスについて、高齢化に伴い利用者は増加傾向である。

### 【今後の取組み方針等】

・高齢者人口の増加に比例して、サービスを必要とする方の増加が見込まれるため、ガイドブック等で周知を図る。



### 【取組み状況】

・高齢者を介護している家族等を支援し、経済的な負担を軽減できるよう介護者手当を支給しているが、死亡や施設入所等の理由により廃止となり受給者は減少傾向である。

### 【今後の取組み方針等】

・サービスを必要とする方を支援するため、ガイドブック等で周知を図る。

## 4 生活支援や安心できる高齢者向け住まいの充実

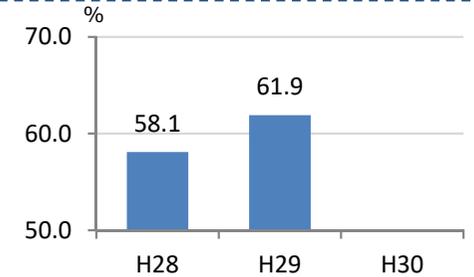
### 【目指す姿】

年齢を重ねても、住み慣れた小牧市において、安心して生活しています。

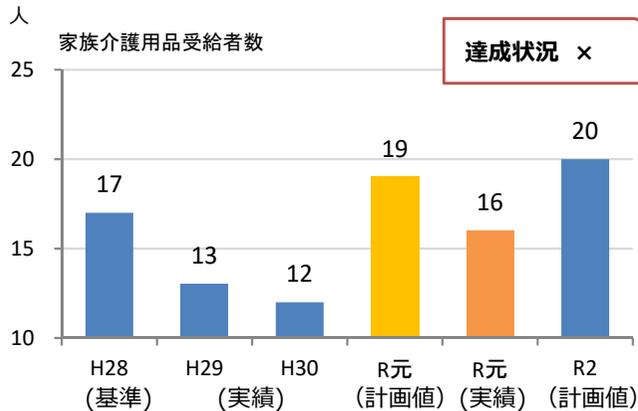
### 【目標値】

現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

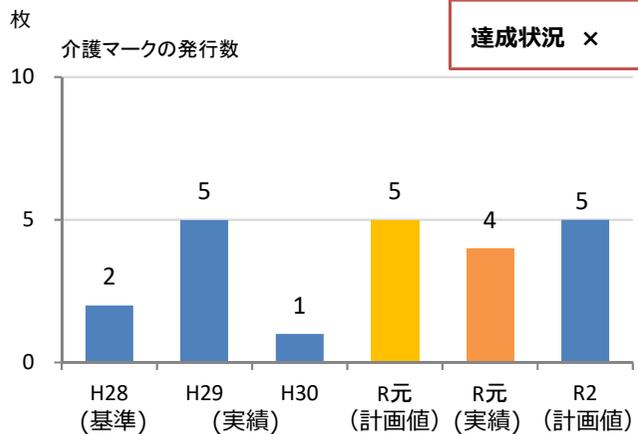


### 【取組み状況】

・高齢者を介護している家族等を支援するために、介護用品の購入の支援を行っているが、高齢化に伴い利用者は微増している。

### 【今後の取組み方針等】

・高齢者人口の増加に比例して、サービスを必要とする方の増加が見込まれるため、ガイドブック等で周知を図る。



### 【取組み状況】

・介護マークの発行数については、平成30年度比較し、微増であった。

### 【今後の取組み方針等】

・家族介護者への支援対策として、地域包括支援センター等と連携して、周知を図る。

## 4 生活支援や安心できる高齢者向け住まいの充実

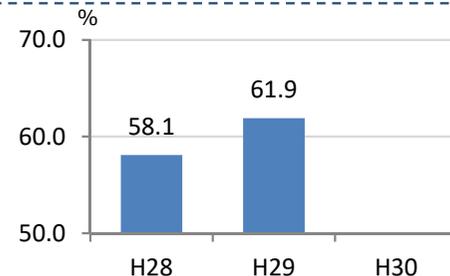
### 【目指す姿】

年齢を重ねても、住み慣れた小牧市において、安心して生活しています。

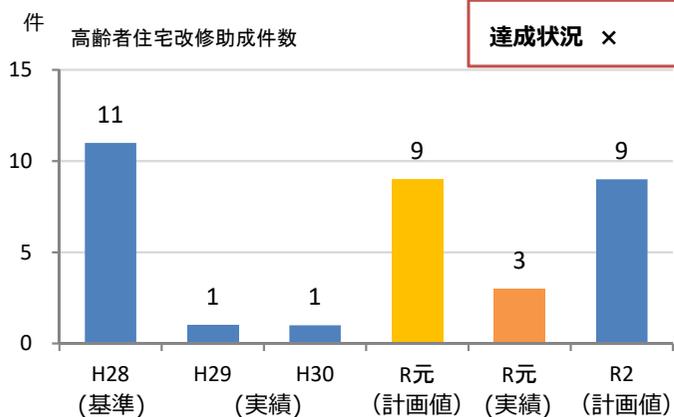
### 【目標値】

現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

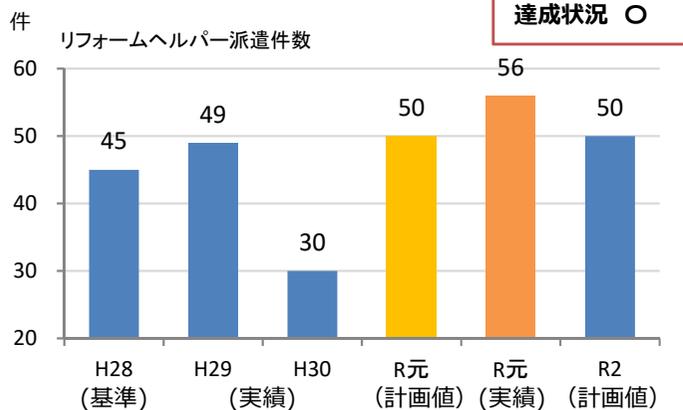


### 【取組み状況】

・ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載で高齢者福祉制度の一つとして周知し、随時相談を受け付けた。

### 【今後の取組み方針等】

・ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載により制度の周知を図り、適切な住環境の整備を促進することで、高齢者が在宅で生活を続けられるよう支援していく。



### 【取組み状況】

・ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載で高齢者福祉制度の一つとして周知し、随時相談を受け付けた。

### 【今後の取組み方針等】

・ホームページ、いきいきファイルなどへの掲載により制度の周知を図り、適切な住環境の整備を促進することで、高齢者が在宅で生活を続けられるよう支援していく。

## 4 生活支援や安心できる高齢者向け住まいの充実

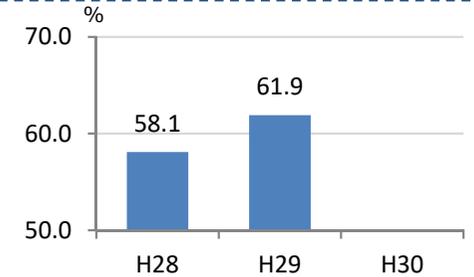
### 【目指す姿】

年齢を重ねても、住み慣れた小牧市において、安心して生活しています。

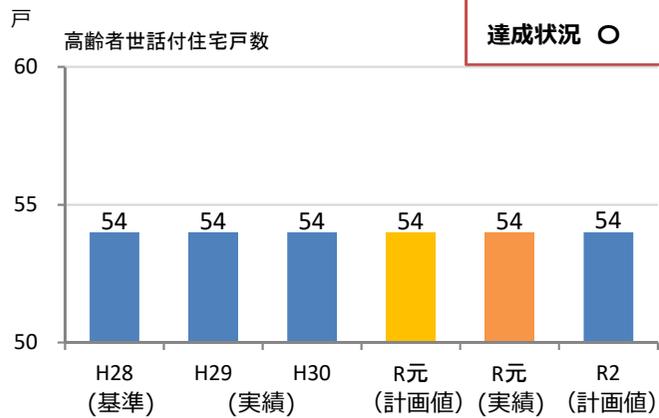
### 【目標値】

現在、居住している住まいが安全・安心と思う市民の割合

※第6次小牧市総合計画新基本計画指標  
H30年度調査（H29実績）で調査終了



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



### 【取組み状況】

・高齢者世話付住宅に居住する高齢者に対して、生活援助員を派遣して、安否確認や生活相談などのサービスを提供した。

### 【今後の取組み方針等】

・高齢者世話付住宅に居住する高齢者が自立して安全で快適な生活を送ることができるよう、引き続き支援を行う。

【参考】指標	H28	H29	H30	R元
サービス付き高齢者向け住宅	3施設 82戸	3施設 82戸	3施設 82戸	3施設 82戸
有料老人ホーム	14施設 549人	14施設 549人	15施設 597人	17施設 642人

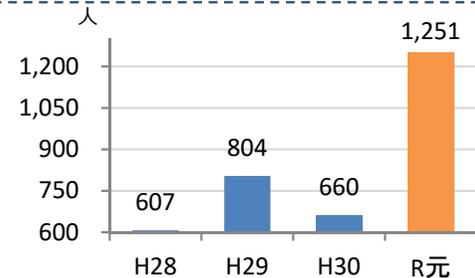
## 5 在宅医療と介護の連携

### 【目指す姿】

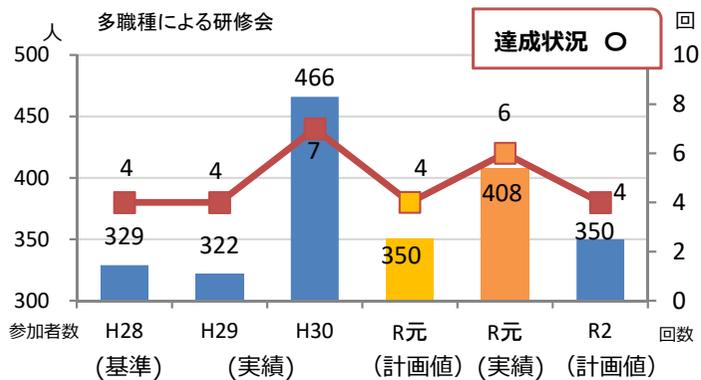
高齢者が住み慣れた地域で安心して医療・介護サービスを切れ目なく受けることが出来るよう、在宅医療・介護提供体制が充実されています。

### 【目標値】

在宅で医療を受けている市民の数



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



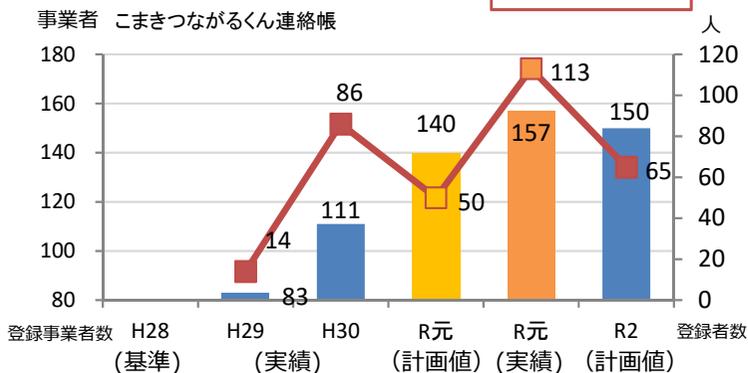
### 【取組み状況】

- ・個別の事例を通じた医療・介護専門職の顔の見える関係づくりを目的として、多職種連携研修、医療・介護勉強会を開催した。
- ・多職種連携研修のテーマ：①迫りくる大地震。どうして？災害への備え、②その人らしく生き抜くためにあなたならどうしますか
- ・医療・介護勉強会のテーマ：①生きる力を支える歯科診療、②在宅に必要な精神科の基礎知識、③在宅に必要な泌尿器科の基礎知識、④認定看護師から学ぶ皮膚・排泄ケア（新型コロナウイルスの影響により⑤小牧ごっくんストア2020中止）

### 【今後の取組み方針等】

- ・新型コロナウイルスの影響で今年度の研修会開催が困難な状況であるが、新しい生活様式を見据えた研修会開催の方法を検討するとともに、WEBを活用した勉強会の開催方法を検討する
- ・研修会、勉強会のテーマについて、今まで以上に在宅医療・介護連携の充実に向けたものを開催するよう検討する。

### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】



### 【取組み状況】

- ・ICT「こまきつながるくん連絡帳」の有効活用に向けた啓発のために、医師会の理事に個別訪問し、登録を行った。訪問時の駐車場マッチングシステムを「こまきつながるくん連絡帳」の機能として追加するよう運営事業者とシステム開発を行った。また、「こまきつながるくん連絡帳」を研修会、勉強会などの情報発信ツールとし、ICTの活用を意識的に進めていく。

### 【今後の取組み方針等】

- ・駐車場マッチングシステムについて、企業等にアプローチし、駐車場の提供者を発掘する。
- ・また、従来のごまきつながるくん連絡帳の登録事業者には、駐車場マッチングシステムの利用を促す。

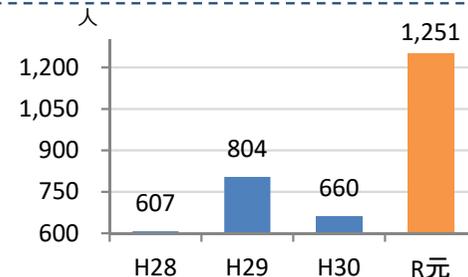
## 5 在宅医療と介護の連携

### 【目指す姿】

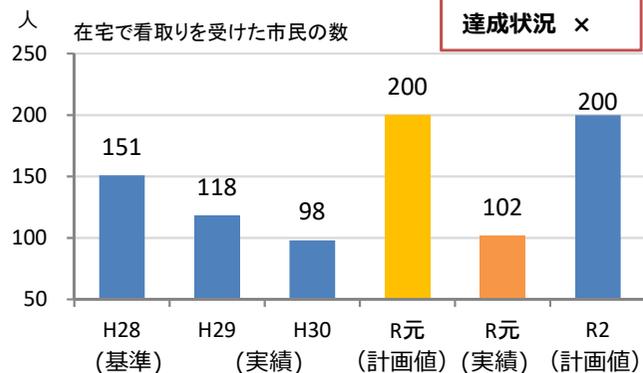
高齢者が住み慣れた地域で安心して医療・介護サービスを切れ目なく受けることが出来るよう、在宅医療・介護提供体制が充実されています。

### 【目標値】

在宅で医療を受けている市民の数



### 【目指す姿を実現するための事業とその年次目標・達成率】

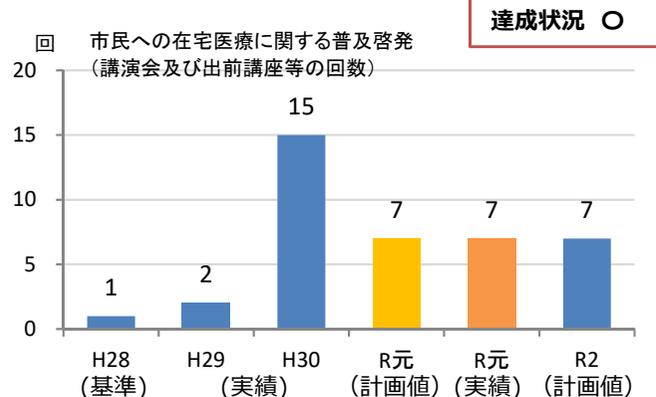


### 【取組み状況】

- 在宅における往診、診療を受けている方、在宅看取りを受けた方、どちらも増加した。
- 在宅医療導入研修会エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座を2日間開催した。

### 【今後の取組み方針等】

在宅看取りを受けた方を増やすには、在宅における往診、診療を受けている方を増やすことだと考えるため、次項のように在宅医療の普及啓発を継続する。



### 【取組み状況】

- 在宅医療・介護の可能性を広く周知するため、市広報などのほか、市民講演会などを通じた普及啓発を継続する。  
(R元 市民講演会「あなたはどう考えますか？最高の人生の終わり方～医療・ケアチームと話し合うACP(人生会議)～」を開催)

### 【今後の取組み方針等】

市広報のほか、市民講演会などを通じた普及啓発を継続する。また、在宅医療・介護連携に関するパンフレット(小牧の在宅医療)の見直し、わた史ノートのページを新たに追加する、出前講座を老人クラブ、サロンなどをはじめ、広く実施する。

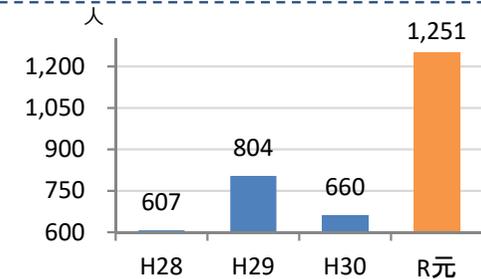
## 5 在宅医療と介護の連携

**【目指す姿】**

高齢者が住み慣れた地域で安心して医療・介護サービスを切れ目なく受けることが出来るよう、在宅医療・介護提供体制が充実されています。

**【目標値】**

在宅で医療を受けている市民の数



【参考】指標		H28	H29	H30	R元
在宅療養支援診療所数	病院	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所
	診療所	14箇所	15箇所	16箇所	16箇所
在宅療養支援歯科診療所数		5箇所	7箇所	10箇所	10箇所
24時間対応体制調剤薬局の数		11箇所	8箇所	11箇所	12箇所
24時間対応体制訪問看護ステーション数		8箇所	8箇所	11箇所	11箇所